

「能美市立病院 新病院基本構想（案）」に対するパブリックコメントの結果について

1. 募集期間:令和8年3月28日（土）～令和8年4月27日（月）
2. 期間中に寄せられたご意見：11名（31件）
3. ご意見の概要と考え方について

| 番号  | ご意見の概要  | ご意見に対する市の考え方   |
|-----|---|--|
| 1-1 | 今後、廃業により歯医者が必要と考える。   | 歯科を含めた新病院の診療体制につきましては、今後策定を予定している基本計画において、医療需要や近隣医療機関との役割分担、医師などの人員確保状況等を踏まえ検討していきます。  |
| 1-2 | 介護の施設の併設はないと思われる。市民に、民間施設の利用を推進し、公営の介護施設は必要ないことを明確に発表したらいいと考える。   | 介護施設については、石川県介護保険事業支援計画、能美市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画を踏まえ、適切に対応してまいります。   |
| 1-3 | 新病院の建設位置について、関心は高い。現病院をかかりつけ医としている患者に適切な説明をお願い致します。   | 新病院の建設地については、基本構想（案）の『新病院の建設予定地に関する検討のポイント』に留意し、能美市民をはじめとした利用者の利便性に配慮した場所を今後検討していきます。  |
| 2-1 | 患者流出が多い現状を踏まえると、機能強化による需要取り込みとのバランスが重要です。病床数および機能配分については、柔軟に見直せる仕組みを明確にしておくべきである。   | 病床数や病院機能については、今後策定を予定している基本計画において、医療需要や近隣医療機関との役割分担、医師などの人員確保状況等を踏まえ検討するとともに、新病院の整備後についても、柔軟に対応していきます。   |
| 2-2 | 新病院の建設地については、市民の利便性や救急搬送効率に直結するため、選定基準の明確化に加え、候補地の比較や評価プロセスの透明性を確保することが重要です。私は、根上総合文化会館西側に位置する大成保育園が立地している隣接地（田）を有効活用すべきであると考えます。この土地は主要道路に面しており、極めて優れた立地条件を備えています。   | 新病院の建設地については、基本構想（案）の『新病院の建設予定地に関する検討のポイント』に留意し、能美市民をはじめとした利用者の利便性に配慮した場所を今後検討していきます。  |
| 2-3 | 新病院の建設併せて介護老人保健施設の建設も併設して行うべきであると強く望みます。  | 介護施設については、石川県介護保険事業支援計画、能美市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画を踏まえ、適切に対応してまいります。   |
| 2-4 | 「みんなの病院」とするためには、整備後も継続的に市民の声を反映する仕組みが必要であると考えます。例えば、定期的な意見交換会や、評価指標の公開などが挙げられます。  | 「みんなの病院」とするために、市立病院ホームページや、これまでも実施している患者満足度調査やご意見箱等を通じ、引き続き市民や患者の声を踏まえ病院を運営してまいります。  |
| 3-1 | 建築場所について、「加賀病院」からのこの地域での役割を絶やさないように根上地域に建設して欲しい。  | 新病院の建設地については、基本構想（案）の『新病院の建設予定地に関する検討のポイント』に留意し、能美市民をはじめとした利用者の利便性に配慮した場所を今後検討していきます。  |
| 3-2 | 病院の役割について、近隣病院のようではなく、現在の診療科目は基本的に維持しながらも療養、介護、リハビリ、緩和ケアといったものを特徴とするようなものはどうか。  | 新病院の診療体制につきましては、今後策定を予定している基本計画において、医療需要や近隣医療機関との役割分担、医師などの人員確保状況等を踏まえ検討していきます。  |
| 3-3 | デイケア、訪問看護・介護サービス、介護老人保健施設を同時に拡充整備すべきではないか。市の介護老人保健施設の縮小・廃止は逆行しているのではないか。  | 介護施設については、石川県介護保険事業支援計画、能美市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画を踏まえ、適切に対応してまいります。   |
| 3-4 | 新病院には女子用トイレを多く備えるべきである。   | 新病院に備えるべき設備等については、今後策定を予定している基本計画等で検討していきます。   |
| 3-5 | 高齢者が増加しており、施設入所者を増やさないためにも、健康増進に積極的に取り組むべきである。  | 現在も実施している健康講話など、健康増進に向けた取り組みを積極的に実施していきます。   |
| 4   | 現在、能美市では、根上地区に能美市立病院、寺井地区に寺井病院、辰口地区に芳珠記念病院と、それぞれの地区に大病院があり、安心して便利に利用させていただいております。この位置関係につきましては、ぜひとも継続いただきたく思っています。新しくなる能美市立病院は、根上総合文化会館から手取川に延びる県道沿いがあらゆる便利性を考えて、最適ではないでしょうか。   | 新病院の建設地については、基本構想（案）の『新病院の建設予定地に関する検討のポイント』に留意し、能美市民をはじめとした利用者の利便性に配慮した場所を今後検討していきます。  |
| 5-1 | あり方検討委員会の資料の公開が必要と思われる。また、俯瞰的判断のためにも委員には民意で選ばれた、議員の加入が必要と思われる。  | 「能美市立病院あり方検討委員会」は新築も含め将来の在り方について総合的に検討するため、学識経験、医療関係者や町会連合会等の市民の代表等の委員で構成し、「能美市立病院基本構想（案）」を取りまとめたものです。また、議会にはあり方検討委員会開催ごとに状況を報告し、頂いたご意見を踏まえ基本構想（案）を策定しました。 |
| 5-2 | 能美市立病院は成り立ちが根上総合病院ということもあり、受益の多くは根上地区を考慮したものにすべきである。寺井地区には、寺井病院、辰口地区には芳珠記念病院があり、総合病院がそれぞれの地区にあることで、地域バランスが保たれている。能美市立病院だからといって無理に全市的な利用を考える必要はない。これから策定する立地適正化計画でも都市機能誘導区域にできるエリアであるため、財政的にも有利である原位置付近での建て替えが妥当である。はまなすの丘の機能統合の意味でも、妥当であると考えます。 | 新病院の建設地については、基本構想（案）の『新病院の建設予定地に関する検討のポイント』に留意し、能美市民をはじめとした利用者の利便性に配慮した場所を今後検討していきます。  |

| 番号   | ご意見の概要  | ご意見に対する市の考え方  |
|------|---|---|
| 6    | 建屋の老朽化で取り壊すことは問題なし。厚生労働省に再編検討の公的病院リストに名前をあげられているなか、赤字体質である運営では市民も納得できないと考える。建設費も膨らみ能美市の財政が圧迫されることや医師、看護師などの医療スタッフの確保、赤字体質から脱却など課題を考慮すると民間病院と統合し、何かあったら頼りになる病院を目指して欲しい。  | 令和6年に能美市立病院経営強化プランを策定し、経営改善プロジェクトに取り組み経営改善に努めております。今後策定を予定している基本計画において、建設物価高騰の状況も加味し建設費の適正化を図るとともに、能美市の財政負担にも最大限考慮し、国が進める地域医療構想との兼ね合いも含め新病院の診療体制について検討を進めていきます。   |
| 7-1  | 公立松任・小松市民・芳珠記念病院への転送や紹介、旧根上市民・旧寺井市民、美川市民の受診、ポニユール施設入居者の受診、タクシーが入りやすい、看板が見えやすく転居者が受診しやすいなど、患者の利便性を考えて金沢・美川・小松線の道路沿いがよい   | 新病院の建設地については、基本構想（案）の『新病院の建設予定地に関する検討のポイント』に留意し、能美市民をはじめとした利用者の利便性に配慮した場所を今後検討していきます。   |
| 7-2  | 高齢者が多く、駐車して院内への移動時の体力の消耗があるので平地での立地が良い。   | 新病院の建設地については、基本構想（案）の『新病院の建設予定地に関する検討のポイント』に留意し、能美市民をはじめとした利用者の利便性に配慮した場所を今後検討していきます。   |
| 7-3  | 慢性疾患、リハビリ、長期療養、終末期まで生涯つきあっている病院、また、病児、救急介護ができる病院が良いと考える。  | ご意見も参考に「みんなの能美市立病院」として、基本構想に掲げた6つの基本コンセプトの実現に向けて取り組んでいきます。  |
| 7-4  | 新しい病院には医師が重要なので例えば能美市内の出身、病院に愛着のある医師がいたら良いと考える。   | 医師の確保は重要な課題であると認識しており、金沢大学病院等と協議する等、医師の確保に努めていきます。  |
| 8-1  | 基本構想では、物価高や材料費の高騰、人件費の増加などで、令和6年度の収支が約3億円の赤字とあるが、今後ますます物価や資機材の高騰が考えられる。国内においては、雇用環境の向上を図るために、手取り額を増やす施策が国会でも議論され、人材確保がさらに難しくなっている。そのような状況下で、新病院に生まれ変われば収支が改善されるのか疑問が残る。新病院の建設費が次世代の負の遺産とならないようもっと時間をかけて検討してもらいたい。（現有施設の老朽化と改修費、新病院の建設費との比較など） | 現病院は最も古い建物で昭和54年に建築し、老朽化が著しいことから、能美市の持続的な医療体制の構築を目指すため、能美市立病院あり方検討委員会を設置しこの度基本構想（案）をとりまとめました。今後策定を予定している基本計画において、建設物価高騰の状況も加味し建設費の適正化を図るとともに、能美市の財政負担にも最大限考慮し、新病院の診療体制について検討を進めていきます。また、令和6年に能美市立病院経営強化プランを策定し、経営改善プロジェクトに取り組み経営改善に努めております。 |
| 8-2  | 新病院の建設予定地は、特に高齢者の通院しやすさを考えれば、幹線道路に面し、患者搬送、移送の円滑化・迅速化が図れることや、居住地から病院へのアクセスが良いメリットがある総合文化会館周辺があげられる。  | 新病院の建設地については、基本構想（案）の『新病院の建設予定地に関する検討のポイント』に留意し、能美市民をはじめとした利用者の利便性に配慮した場所を今後検討していきます。   |
| 8-3  | 新病院の建設が検討され基本構想が策定されていることを知っている市民は少なく、基本構想に対するパブリックコメントの募集が行われていることも知る人がわずかである。今後、建設を進めていく前に、建て替えが必要な理由や、財源が確保され将来にわたり市民の負担にならないということなど、住民説明会や情報発信でメリット・デメリットを含め、丁寧に説明を行い、市民が理解できるように『地域に必要な医療を提供し、なくてはならない病院』となることを、利用者の一人として切に願っている。        | 市民のご理解が得られるよう、能美市広報や市立病院ホームページなどを活用した情報発信に努めてまいります。   |
| 9    | 介護老人保健施設「はまなすの丘」について、介護老人保健施設の意義と役割を確認し、縮小廃止でなく少なくとも第9期プラン計画を実行すべきと考えます。老人福祉を守る能美市の責任において、新病院建設時には、介護老人保健施設の併設あるいは新設など含めて、設置すべきことを提案します。  | 介護施設については、石川県介護保険事業支援計画、能美市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画を踏まえ、適切に対応してまいります。  |
| 10-1 | 病院機能選択において、「高齢者救急・地域急性期機能、在宅医療等連携機能が求められる」とあるが具体的に強化されることになるのか。   | 今後、増加が見込まれる高齢者救急や在宅医療の強化に向けて医療提供体制の整備を進め、医療・介護・福祉のシームレスな提供「地域包括ケアシステム」の構築を目指してまいります。  |
| 10-2 | 新病院でのベットは100床と同じです、急性期病床25と地域包括ケア病床75へと変更になっている。地域包括ケア病床は60日間の縛りがあり、十分な対応なく退院を迫られることが危惧されます。療養病床ベットを残し、患者や家族が選択できるようにし、支援してほしい。地域医療構想での推進だけでは家族の負担は増えるだけである。  | 地域包括ケア病床退院後の患者は、自宅療養が困難な方に対しては入所施設に移行することになり、安心して療養できるよう地域医療推進センター「まるっと」を中心に対応してまいります。また、能美市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画などで、市関係部局と協議し検討していきます。   |
| 10-3 | 新病院として、地域の民間施設や病院との連携・ネットワークが出されているが、地域包括システムを担う公立病院として、連携とともに独自に在宅療養困難な人を受け入れる機能を強化して安心を培ってほしい。その点で、病院と一体に介護施設の充実をはかる責任を確保しなければ市民の安心への希望が失せるのではないかと。   | 介護施設については、石川県介護保険事業支援計画、能美市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画を踏まえ、適切に対応してまいります。  |
| 10-4 | 新病院体制において、医療機関との役割分担、医師確保の状況、診療報酬の改定をふまえて柔軟に見直す。とありますが、医師確保できないから診療縮小もありうるという方向では納得できません。具体的に建物の建設だけでなく、この医療を推進するための医師確保の対策と展望と財務計画と合わせ検討する必要があるのではないかと。  | 医師の確保は重要な課題であると認識しており、金沢大学病院等と協議し、医師の確保に努めていきます。また、財政計画について、今後策定を予定している基本計画において、能美市の持続的な医療体制の構築を目指した基本計画となるよう検討を進めていきます。  |
| 11-1 | 石川県の地域医療構想を俯瞰して、能美市全体に必要な維持すべき医療が明示されていますか。   | 国が進める地域医療構想に基づき、石川県による南加賀医療圏の医療体制構築を目指し、能美市内では高齢者救急や地域急性期機能及び在宅医療等の連携機能が求められると考えており、市内医療機関と協議を進め、今後策定を予定している基本計画において明示してまいります。  |
| 11-2 | 能美市内の医療機関の役割と機能、「連携」の内容が、当事者間の合意形成がなされた上で、十分に示されていますか。  | 市内の医療機関と協議し各医療機関の役割と機能、さらに連携の内容について協議を進め合意形成を図り、今後策定を予定している基本計画において「連携」等の内容を示してまいります。   |
| 11-3 | 「連携」に参画した医療機関の経営が守られる確約はありますか。  | 今後策定を予定している基本計画において、市内の医療機関と連携を深め「地域全体の医療体制を構築し、役割を分担する共存関係」を目指してまいります。   |